

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|----------|-----------------|---|---------------------------------------|---|---------------|
| 科 目 名 | スポーツ内科学 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年生 | | 学期及び曜時限 | 前期 木曜1限 | 教室名 | 503教室 |
| 担 当 教 員 | 山下 浩平 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| スポーツ選手に関連する内科疾患を中心に学習すると共に、その予防や早期発見にかかわるメディカルチェックドーピングコントロールについても学んでいく。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 1. 期末レポート:70% 2. 授業内課題:20% 3. グループワーク中の態度・発表:10% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| スポーツ選手＝スポーツ傷害ではありません。内科的な疾患の可能性も非常に高く、一般人の症状とは一線を画す場合があります。スポーツ選手に特有な症状を早期に見抜き、適切な処置をするため、しっかり学習していきましょう。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 呼吸器・血液感染症を理解する。 | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | イントロダクション 感染症に対する対応策(呼吸器感染症、血液感染症) | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 皮膚・眼の感染症を理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症に対する対応策 皮膚感染症、ウイルス性結膜炎 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 海外遠征時の感染症対策を理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症に対する対応策 海外遠征に注意すべき感染症、各競技別ルールにみられる感染症対策 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 循環器疾患・代謝性疾患を理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスリートにみられる内臓器官などの疾患 循環器系疾患、代謝性疾患 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 消化器疾患・呼吸器疾患を理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスリートにみられる内臓器官などの疾患 消化器系疾患、呼吸器疾患 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|---------------------------------------|---|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 血液疾患を理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスリートにみられる内臓器官などの疾患 血液疾患 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 腎泌尿器・皮膚疾患を理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスリートにみられる内臓器官などの疾患 腎・泌尿器疾患、皮膚疾患 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | その他アスリートに見られる疾患を理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスリートにみられる病的現象など オーバートレーニング症候群、突然死、過換気症候群 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | その他アスリートに見られる疾患を理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | アスリートにみられる病的現象など 摂食障害、減量による障害、喫煙・飲酒の問題点 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 特殊環境下での諸問題を理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 特殊環境のスポーツ医学 高所および低酸素環境下での身体への影響 高圧環境、暑熱環境、低温環境、時差、海外遠征時の諸問題 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 年齢別諸問題を理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 年齢・性別による特徴 女性のスポーツ医学、成長期のスポーツ医学、高齢者のスポーツ医学 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | メディカルチェックについて理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 内科的メディカルチェック | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | ドーピングコントロールについて理解する | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | ドーピングコントロール | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 内臓疾患の理解を深める | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 内臓疾患の総復習 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感染症の理解を深める | 公認アスレティックトレーナー養成テキスト 第4章「健康管理とスポーツ医学」 | 教科書を読み込み、読めない漢字をなくしておく。医療トピックスをニュースでチェックしておくこと。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症の総復習 | | |